



文部科学省が移行期間用の教材を配布、指導資料も公開

● 冊子やデジタルの教材配布とインターネットによる資料公開

移行期間(平成30～31年度)のための小学校外国語活動用の新教材、『Let's Try! ①～②』(3～4年生用)と『We Can! ①～②』(5～6年生用)が配布されています。中学年で外国語活動を経験していない今年度の5～6年生の児童に対しては、『We Can!』に合冊として付属している『Hi, friends!』の内容も多く利用しながら、指導していくことが求められます。

文科省が開設している新教材ダウンロード専用サイトにも、各教材の「児童用冊子」「教師用指導書」「デジタル教材」「ワークシート」が揃い、さらに「参考資料」として、「動画・音声のスクリプト」「We Can! 使用フォント」「学習指導案例」なども公開されています。



● 新旧教材の内容比較(『Let's Try! ①』編)

3～4年生用の新教材『Let's Try!』には、『Hi, friends!』と類似した単元が多く見られますが、その内容は大きく組み替えられ、一新されています。『Let's Try! ①』の中で、とくに「移行期に必ず扱うこと」が求められている単元について、留意すべき旧教材との内容比較を以下に簡単にまとめました。

Unit 1 Hello!	Hi, friends! ① Lesson 1: Hello! に相当する内容ですが、2単位時間で扱いやすくなるよう精選されています。Hi, friends! のような特定のキャラクターは登場せず、世界の子どもたちが話すさまざまな言語により焦点をあてています。Hi, friends! にあった名刺交換の活動は、新教材では児童の実態に応じたオプションとされています。
Unit 4 I like blue.	Hi, friends! ① Lesson 4: I like apples. と Lesson 5: What do you like? に関連する内容ですが、4単位時間で扱えるようアレンジされています。虹を題材とした色の導入から始まり、スポーツ、飲食物、果物・野菜を扱います。形や動物、What do you like? は、ここでは扱いません。
Unit 6 ALPHABET	アルファベットの大文字に出合う単元で、Hi, friends! ① Lesson 6, ② Lesson 1 と関連しています。見開きのイラストの中に隠れたアルファベットを探す仕掛けは共通しています。アルファベットの仲間分けを考える活動は、文字の形への認識を深め、高学年の「書く」活動に接続していくものです。文字カードを使った活動には、「名前の頭文字のカードをもらう」という設定が付加されています。
Unit 8 What's this?	Hi, friends! ① Lesson 4で扱っていた名詞を使って、同 Lesson 7 同様の What's this? の活動を行います。新教材 Unit 4で扱っていない動物の語彙をここで扱うことができます。シルエットや漢字などを見て「何だろう?」と考えさせるクイズは共通していますが、デジタル教材では新たな仕掛け、新しい趣向のクイズ活動も登場しています。
Unit 9 Who are you?	平成28年度に補助教材として配布された絵本“In the Autumn Forest”のダイジェスト版となっており、文部科学省から示されている移行期間の指導計画案例では、帯時間で扱うことが提案されています。ダイジェストによって、登場する動物は十二支のもののみ、形容詞はlong, shiny, scary, furry, roundの5つに絞られています。また、身体の部分についての語彙は割愛されています。

※今後、『Let's Try! ②』、『We Can! ①②』の内容についての情報も別途発信を予定しています。

教育出版のWEBサイトでも関連資料を紹介しています。

●「小学校」「英語」ページから発信します <http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>

